

## 令和3年(2021年)7月 青果部 主要品目の市況

	種類	品名	市況の概要	2021年7月 数量 (トン)	2021年7月 平均単価 (円)	前年同月比 数量	前年同月比 平均単価
1	野菜	人参	北海道(函館)産、青森県産中心の入荷でした。前進傾向により、入荷量はやや増加しました。平均単価は大幅に安く推移しました。	464	105	106%	39%
2		キャベツ	順調な入荷により、入荷量はやや増加しました。平均単価はかなり安く推移しました。	1,018	72	106%	70%
3		トマト	北海道産は気温30度を超える日照が続いたことで前進出荷になるなど、入荷量はかなり増加しました。平均単価は安く推移しました。	621	309	124%	86%
4		なす	群馬県産・栃木県産中心に福島県産・山梨県産からの入荷でした。好天に恵まれ、各産地の出荷量は順調な状態で推移しました。入荷量は大幅に増加しました。平均単価はかなり安く推移しました。	127	328	153%	64%
5		たまねぎ	兵庫県産、香川県産中心の入荷でした。大玉が多く、入荷量は増加しました。平均単価は安く推移しました。	541	124	116%	85%
6	果実	西瓜	好天と順調な産地リレーもあり、入荷量は増加しました。梅雨明け以降の猛暑日続きもあり、旺盛な需要による相場高のため、平均単価はかなり高く推移しました。	689	228	112%	136%
7		メロン	上旬は関東産が6月から続いた前進化による早期の切り上がり、下旬は東北産の生産量減少により、入荷量はかなり減少しました。平均単価は高く推移しました。	170	490	68%	119%
8		桃	前年不作の山梨県産が平年作となり、東北産も下旬に本格出荷となるなど産地リレーが順調に推移し、入荷量は増加しました。平均単価は前年並みで推移しました。	261	676	112%	98%

## 【増減基準】

- ①並み、横ばい:(+)-0~2%
- ②やや増加(減少):(+) 3~10%
- ③増加(減少):(+)11~20%
- ④かなり増加(減少):(+)21~50%
- ⑤大幅に増加(減少):(+)51%以上